

モットー「楽しき中にも規律あり」トツプより先に歩かない。間隔を開けない。アンカーより後にならない。

2015年7月 19日

各 位

松愛会 兵庫東歩こう会

第 222 回例会 納涼ハイク 「高野山」 ご案内

残暑厳しいこの月は、都会の暑さを避け、納涼ハイクと銘打って高野山を歩きます。唐の都・長安に渡り、真言密教の教えを受けた弘法大使空海は、帰国後 816 年に国家の鎮護を願って高野山の地に修禪の道場を開き、今年(2015 年) 開祖 1200 年を迎えています。遠方で朝早出となりますが、多数参加ください。

記

集合日時： 2015年 9月15日 (火) 8時10分 受付開始： 7時40分

8時19分発の南海高野線急行(橋本行)に全員乗車します。

集合場所： 南海電車 「なんば駅」 3階北改札口 (エスカレーターで登った左側スペース)

雨天対応： 気象庁のホームページ (URL : <http://www.jma.go.jp/jma/index.html>) または NTT の天気予報 (073+177) で、和歌山県北部の例会前日 17 時発表、翌日 06-12 時、12-18 時のいずれかの降水確率が 50%以上のときは中止とします。

コース： 南海高野山駅＝奥の院口 BS(799m)～弘法大師廟(801m)～転軸山森林公園(807m)～大門(842m)～壇上伽藍(830m)～金剛峯寺(831m)～徳川家霊台(828m)～一心口 BS(836m)

なお、金剛峯寺で人員点呼後自由解散しますので、個々に高野山を楽しんでください。

距離：9.4km、時間：4h25m、標高差：30m 難易度 ★★

服装： 長袖シャツ、長ズボン、帽子、歩きやすい靴 (長距離歩ける靴を)

持参物： 弁当、飲料水、敷物、タオル、雨傘、中間食 (少しお昼が遅くなります)

費用： 500円 (参加費)

保険： 歩こう会で発生した事故については会として一切責任は負えません。各自の責任のもとに対応をお考えください。万一のことを考えまして団体傷害保険には加入しています。

電車案内: 高野山 1 day チケットがお得です。阪急の主要駅、能勢電は川西能勢口駅、平野駅、山下駅で購入でき、阪急版は¥3,090で阪急電車→市営地下鉄→南海電車+ケーブル+バスの区間で利用できます。能勢版は¥3,390円です。能勢電車利用の方は、川西能勢口駅で降車して能勢版を購入ください。高野山 1 day チケットは、最寄りの駅事前に確認してください。また、払い戻しには、500円かかりますので、当日の購入をお勧めします。

阪急宝塚線				地下鉄御堂筋線		阪急神戸線			
	川西能勢口	十三	梅田	梅田	なんば		西宮北口	十三	梅田
準急	7:10	7:33	7:37	7:46	7:55	特急	7:15	7:26	7:30
日生エクスプレス	7:14	7:35	7:39	7:48	7:57	通勤特急	7:23	7:35	7:39

注) 南海「なんば駅」へは、地下鉄「なんば駅」から 6 分程度の時間がかかります。地下鉄「なんば駅」の最前方の A 出口階段を上がり、南南改札口から出口④に向かう。南海電車方向を示す標識を確認しながら、南海電車の「南海なんば駅 3F 改札口」へのエスカレーターで登りその左スペースに集合する。

周辺案内

パナソニック墓所：創業者松下幸之助は少年時代に船場の丁稚奉公をした五代商会の五代五兵衛氏に先祖代々のお墓の建立を勧められ、昭和12年の秋に松下家累代のお墓と従業員物故慰霊碑を建立し、今も尚、従業員慰霊法要が行なわれています。

奥の院：： 大師信仰の中心霊域です。奥の院には弘法大師入定留身（まだ生きておられる）の御廟所をはじめ燈籠堂・記念燈籠堂・御供所・不動堂・御廟の橋・納骨堂・経堂・水かけ地藏等があり、有名な玉川の清流が参拝者の心を浄めてくれます。

かるかやどう
刈萱堂： 刈萱道心と石童丸の悲話・石童丸物語で有名な刈萱堂。刈萱道心が出家したいきさつから息子の石童丸がこの高野山に父を訪ね、母の死をきっかけに父子と明かされる事が無いままともに修行したと伝わるお堂です。建物内の周りにこの物語が描かれた絵と解説が飾られています。

だんじょうがらん
壇上伽藍：「僧が修行する静寂の園」という意味を持つ壇上伽藍。高野山全体の総本堂である「金堂」や、高50mの多宝塔「根本大塔」などの建物が並び、高野山のシンボルともいえる。大塔正面にある「梵鐘」は、1547年に改鑄したもの。「高野四郎」の名で親しまれており1日5回、合計108つの鐘を鳴らす。

根本大塔： 弘法大師は高野山開創後、この大塔を真言密教の象徴として建立された。再三、落雷等の火災にあい現在の大塔は、昭和12年に完成し、高さ48.5・、約23.5・四面の偉容を誇っております。

金堂： お大師様が講堂として伽藍の中で最も早く建てられた建物です。御願堂とか薬師堂とも呼ばれ、いつしか俗称の金堂が通り名となりました。昭和元年の大火で御本尊をはじめ多くの国宝佛ともども焼失。現在の建物は昭和7年に7度目の建立をされた物です。

金剛峯寺： この名称は 元は弘法大師により名付けられた 高野山一山を表す総称であった。現在は高野山真言宗の総本山の名称となっている。 建物は文禄2年（1592年）豊臣秀吉が母親の菩提のため応其上人に命じて建立した寺で明治2年までは青巖寺と呼ばれていた。 落雷により2度焼失、現在の建物は江戸末期の文久3年（1863） 再建された。

[問合せ先] 久保、甲斐

参考資料(ダブルクリックで資料が見られます)

1. 高野山1dayチケットパンフレット
2. 高野山ガイドパンフレット（当日難波駅で配布予定です、印刷されなくとも可）